

第9学年 社会科学習指導案

指導者 林 明穂

1 単元名 国民主権と政治参加

2 単元の目標

- ポスター作成から開票までの模擬選挙を行うことを通して、我が国の民主政治の仕組みのあらましや政党の役割、議会制民主主義の意義について理解できる。 (知識及び技能)
- 模擬選挙を行うことを通して、民主政治の推進と、公正な世論の形成や選挙などの政治参加との関連について多面的・多角的に考察し、表現できる。 (思考力、判断力、表現力等)
- 模擬選挙を行うことを通して、主体的に政治に参加しようとしたり、我が国の民主政治の発展に寄与しようとしたりする自覚をもとうとする。 (学びに向かう力、人間性等)

3 単元計画 (本時7／8)

時	◎本時の学習問題（学習課題） ◆主な学習内容
1	<p>◆ 社会の問題を解決し、国民の安全を守り、生活をよりよくするという国や地方公共団体のはたらきを政治という。日本では民主政治が行われており、国民が選挙によって選んだ代表者が決定するしくみである間接民主制を採用している。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>【単元のゴール】 日本の未来をつくるのはだれ？！</p> </div>
2	<p>◎ 偉人総選挙の候補者を選ぼう。</p> <p>◆ 間接民主制を採用している日本では、国民は自分と考えが近い代表者に投票することで、意見を政治に反映させる。候補者は、国民の意見に耳を傾け、政治や公約に反映させる必要がある。</p>
3 4	<p>◎ 偉人総選挙のポスターを作成しよう。</p> <p>◆ 候補者は選挙の際、社会が直面する課題や解決方法を示した公約を発表し、ポスターに掲載する。選挙用ポスターは、候補者が票を獲得して、当選するために重要な役割を担う。</p>
5	<p>◎ どのようにして選挙を行うのだろうか。</p> <p>◆ 日本は、間接民主制を採用しており、選挙によってえらばれた代表者が政治を行う。選挙は、直接選挙、普通選挙、秘密選挙、平等選挙の4つを原則として行われる。衆議院議員選挙は、小選挙区比例代表並立制で実施される。</p>
6	<p>◎ 当選者はどのようにして決まるのだろうか。</p> <p>◆ 衆議院議員選挙では、小選挙区比例代表並立制で当選者を決めており、参議院議員選挙では、原則として小選挙区制や比例代表制を組み合わせて行っている。</p>
7 (本時)	<p>◎ 日本でも義務投票制を導入すべきだろうか。</p> <p>◆ 日本では、投票率が低いことが選挙における課題の一つであり、特に若者の投票率が低くなっている。スイスやオーストラリアのように義務投票制を導入している国もある。</p>
8	<p>◎ 日本の未来をつくるのはだれ？！</p> <p>◆ 国会・内閣・裁判所の働きや、政治家の活動だけでなく、我々も日本国民として民主政治に積極的に参加し、自分たちの力で日本の未来をつくっていく必要がある。</p>

※ 歴史上の偉人が、現代の衆議院議員総選挙に出馬すると仮定して行う模擬選挙を「偉人総選挙」としている。

4 本時の目標

- 日本でも義務投票制を導入することの是非を考えることを通して、政治や日本の未来に関わろうとする態度を育成する。
(学びに向かう力、人間性等)

5 本学級の学園生の実態と課題

本学級の学園生は、様々なメディアから情報を得ており、社会的事象に関しての疑問をもつことが多く、ほとんどの時間で自ら学習問題を設定している。しかし、社会の一員として生きていくことにつながるような問い合わせをもつところまでは至っていないので、単元を通して疑似体験をしたり、実社会の課題を取り上げたりすることで、さらに新しい問い合わせに向き合っていけるようにしたい。

6 学習指導過程 (7／8)

	学習内容・学習活動	○指導上の留意点 ◎評価 ★「ひ」	資料準備物
導入 15分	1 偉人総選挙の投票率と、近年の選挙の投票率を知る。 2 義務投票制を導入している国があることを知る。 3 本時の学習問題を設定する。 日本も義務投票制を導入するべきだろうか。	○ 偉人総選挙と27日の衆院選の投票率を提示することで、選挙における課題と原因に気付くことができるようとする。 ○ 義務投票制を導入している国があると知ることで、日本の選挙制度と比較し、選挙制度のあり方について疑問をもつことができるようにする。 ★ 義務投票制に関する疑問を引き出すことで、本時で学習する内容を考え、学習問題を設定することができるようにする。	パソコン テレビ ワークシート
展開 25分	4 資料をもとに賛成・反対の両方の立場を考える。 5 グループで意見交換をし、考えをホワイトボードにまとめ、全体で共有する。	○ 複数の資料を提示することで、多角的にとらえることができるようにする。 ○ グループで意見交換を行う時間を設定することで、話し合いながら自分の考えを深めることができるようにする。 ○ 全体で意見を共有する時間を設定することで、各グループの意見を聞き、さらに自分の考えを深めることができるようにする。	ホワイトボード
終末 10分	6 自分の考えを書く。 <u>賛成</u> 関心をもつことで投票率が上がり、民主政治が実現される。 <u>反対</u> 深く考えずに投票する人がいて、結果に悪影響が出そう。	○ 賛成・反対の意見を踏まえて、義務投票制に対する自分の考えを書くことで、民主政治への考えを深めることができるようにする。 ○ 様々な視点から義務投票制を捉え、政治や日本の未来に関わろうとする態度が見られたか。	